

3月の星空情報

2022年 3月 1日

発行 黒石 すばるの会

<http://subaru9614.dip.jp>

東の星空

東の中天(頭の真上と地平線のほぼ中間)には、春の星座といわれるしし座が勢いよく昇ってきました。

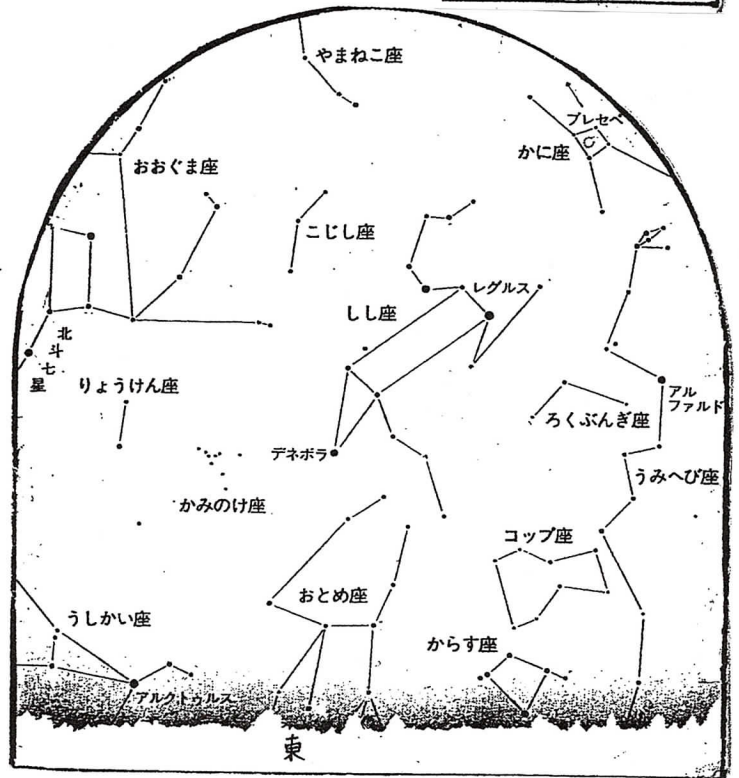
獅子の頭から胸にかけての部分を示す「？」を裏返したところには、心臓を表わす1等星のレグルスがあります。

レグルスは21個ある1等星のうちで一番暗い星ですが、それでも、太陽の130倍も強い光を出しています。

しし座の下には春の代表的な星座であるおとめ座が昇ってきました。

また、時刻の関係で図には書けませんが朝4時すぎ頃から、-4.6等くらい金星・1.2等くらい火星・0.7等くらい土星・1か月の間に明るさが-0.1等から-1.3等くらいまで変わる水星・-2等の明るい木星など、肉眼で見えるほとんどの惑星が次々に昇ってきて、たいへん豪華な星空を観察することができます。(1枚目も参照)

月はじめは 21時ころ
10日前後は 20時20分ころ
20日前後は 19時40分ころ
月まつは 19時ころ



西の星空

おうし座の牛が2本の角をまっすぐ上に向けている姿がとても目立ちます。

その雄牛を追っているようなオリオン座や、将棋の駒のような形のぎょしゃ座などの冬の星座たちも、まだ宵の西空に残っています。

「ぎょしゃ」は漢字では「御者」とか「馭者」と書き、馬を引く人を表わします。

この星座で目立つのは黄色味をした1等星のカペラです。

